

3) 各診療科における夜間・早朝の軽症救急患者数の変化

平成20年4月以降の、各診療科における夜間・早朝の軽症救急患者数の変化について医師責任者にたずねたところ、全体では「減少した」が9.1%、「変わらない」が71.1%、「増加した」が16.0%であった。

診療科別にみると、「小児科」では「減少した」が19.6%、「救急科」では「減少した」が16.3%と他の診療科と比較すると「減少した」の割合が相対的に高かった。一方、「脳神経外科」では「増加した」が24.4%と、他の診療科と比較すると高い結果となった。

図表 127 各診療科における夜間・早朝の軽症救急患者数の変化（医師責任者）
平成20年4月以降

